

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

情報収集について言えば、学部2年の頃から就活関連のイベントに潜り込むなどして業界や職種についての情報を集めていました。おかげで、本格的に就職活動を始めた修士1年の12月には、志望する業界と職種が明確になっていましたね。志望業界と職種が固まっていたので受けた企業は14社と少なく、不安になつた時期もありました。しかし、翌年4月には第一志望のメーカーから内定をいただくことができ、就職活動を終えることができました。

志望業界と内定先は？

グローバル展開しているメーカーのサプライチェーン職を志望していました。もともとはものづくりエンジニアになりたいと思っていたんです。しかし、発展途上国を支援するNPO団体の活動に参加し、ケニアでアメリカのNPO法人が寄付したソーラーランタンが使われている現場を追跡調査したときの体験から「いくらエンジニアが完璧な設計をしたとしても、それを正確に具現化するための仕



組み、つまりサプライチェーンも同時に機能しなければ意味がない」と痛感しました。そのソーラーランタンの設計・デザイン自体は素晴らしいのですが、生産工場晴らしかつたのですが、生産工場での不具合により耐久性に問題があったのです。

後日、生産技術を含め、ものづくりの仕組みを構築できるサプライチェーンという職種の存在を知り、関心を持つようになりました。企業の選択について言えば、グローバル展開をしている企業でアフリカを始め途上国に行ける可能性があることが、最終的な決め手となりました。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

理系ナビのサービスは

活動体験談 01

様々な活動に挑戦し、本当にやりたいことが明確に

東京工業大学大学院 国際開発工学専攻 修士2年 原口 拓郎

【就活データ】

- 就活開始：2011年12月
- 就活終了：2012年4月
- 志望業界：メーカー
- エントリー：14社
- 面接社数：7社
- 内定社数：2社
- 内定先：GEヘルスケア・ジャパン株式会社 内定

理系ナビのキャリア相談を利用して、就職活動の相談や面接の対策をしてもらいました。面接対策ともあってなかなか上手くできなかったのですが、専門スタッフの方に客観的なフィードバックをもらったのが良かったです。初めての面接の前に、練習ができたので自信を持って本番に臨むことができました。

就職活動で一番苦労したことは何ですか？

文章を書くのが苦手だったので、エントリーシートなど選考対策はかなりの力を入れて準備しました。自分のエピソードに矛盾点はないか、論理的に構成されているかなど、友人や先輩など複数の人にチェックしてもらいました。志望度の高い企業のエントリーシートなどは6人くらいに見てもらったおかげで、かなり鍛えられたと思います。なにより、自分に自信を持てるようになったことが収穫でした。

就職活動で大切なと感じたことは？

理系ナビのキャリア相談を利用して、就職活動の相談や面接の対策をもらいました。面接対策ともあってなかなか上手くできなかったのですが、専門スタッフの方に客観的なフィードバックをもらったのが良かったです。初めての面接の前に、練習ができたので自信を持って本番に臨むことができました。

私自身について言えば、いわゆる「就職活動」を通じて、やりたいことが見つかったわけではありません。途上国支援の活動に興味を持って、いろんな活動に参加しているうちに自分が本当にやりたいと思えることが見えてきました。留学、進学、就職というんな選択肢があつていいと思います。視野を広く持つているんな経験をする中で、自分にとってベストな選択をしてほしいですね。

これから就活に臨む理系ナビ読者へのアドバイスをお願いします

内定を得て、会社に入るのゴールではありません。就職活動を長期的な視点で捉えてほしいですね。私は10年後、20年後に自分のありたい理想像をイメージし、逆算したときにどの選択をすればゴールが一番近づけるかを考えました。選択に迷っている人は、徹底的に悩んだらいいと思います。自分もそうでしたから。社会人など、いろんな人から話を聞いて、考えて、自分なりに仮説を持って、また人にぶつけてみる。その繰り返しで、自分の進むべき道が見えてくるはずですよ。

就職活動はどんな
スケジュールでしたか？

サマーインターンシップに参加するため、修士1年の6月に情報収集を始めたのが最初です。IT業界の3社にエントリーし、インターネット企業のインターンシップに8月後半から2週間参加することができました。その後は修士論文の準備に追われ、目立った活動はしていませんでしたが、12月になってから就職情報サイトに登録しました。その後、インターンシップに参加した企業の選考が通常選考とは別ルートで進んで、1月には最初の内定をいただきました。しかし、もっといろんな企業を見てみたいと思い、その他のインターネット企業やS社も受験。最終的に電通国際情報サービス(SID)から内定をいただき、5月に就職活動を終わりました。

志望業界と内定先は？

IT業界でのITやインターネット企業を中心に見ていました。インターネット企業のインターンシップに参加して、研究室に近い職場の雰囲気などにも惹かれたのです

が、最終的にはスキルの高い人材が多く在籍しているS社で自分のスキルも高めていきたいという思いが高まり、入社を決めました。実は、大学でもSIDと共同研究をしたことがあり、多くの同社社員と接する中で、会社や社員のなりを深く知ることができたというのも入社決め手として大きかったですね。

理系ナビのサービスは
いかがでしたか？

理系ナビの情報誌は、情報収集のために読んでいました。理系の先輩たちの就職活動体験談など、インタビュアー記事は大変参考になりました。



【就活データ】

- 就活開始：2011年6月
- 就活終了：2012年5月
- 志望業界：IT
- エントリー：10社
- 面接社数：10社
- 内定社数：5社
- 内定先：電通国際情報サービス (SID) 内定

case

02

理系の就職

研究室の縦と横のつながりは理系のアドバンテージ

立命館大学大学院 理工学研究科 情報理工学専攻 修士2年 里中 裕輔

就職活動で一番苦労したことは
何ですか？

私は関西在住で首都圏での就職を希望していたため、移動やスケジュール調整が一番大変でした。金銭的にも厳しかったので、選考日程をできる限りまとめ、一度の上京で効率よく企業を回るよう調整しました。

採用選考では、最初の頃は面接が上手くできずに苦労しました。そこで、話し方や内容について友人や先輩に相談し、模擬面接をお願いするなどして改善していきましました。

就職活動で大切なと
感じたことは？

私が心掛けていたのは、一貫性です。話す内容や雰囲気、ズレがあると相手への印象が悪くなるので、そこには気を遣いました。面接の際には、自己PRの方向性や話題の選択において矛盾や違和感が出ないように配慮し、面接官に対して自分の特徴や強みがしっかりと伝わるように意識していました。

これから就活に臨む理系ナビ読者へ
のアドバイスをお願いします

インターンシップに参加し、企業の中で働くという経験はぜひしておいた方がいいと思います。私は1社しか参加できませんでしたが、可能であればS社など他の業態のインターンシップも参加したかったです。今の時期からでも冬のインターンシップもありますし、スケジュール的に難しければOB訪問やセミナーへの参加を通じて、できるだけ「働く」ということへの理解を深めてほしいと思います。

あとは、同期や先輩といった理系ならではのつながりを最大限に活用してください。情報を得るといっただけでなく、頑張っている同期の仲間がいれば自分のモチベーションも高まります。また、研究室の縦のつながりで社会人のOBに会うことができ、エントリーシートを添削してもらったりアドバイスをもらえたりしたのも大きかったですね。そういった身近なつながりには、大変助けられました。